

令和4 年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る研修会

宮城県フレイル対策市町村サポート事業

～みやぎの強みを活かし、高齢者の皆様を心身ともに『元気』にします！～



宮城県保健福祉部長寿社会政策課
地域包括ケア推進班
技術主査 相澤裕介



発表の内容

- 宮城県の概要
- 宮城県フレイル対策市町村サポート事業について



元気を呼ぼう！
介護予防

©宮城県・旭プロダクション



宮城県の概要



-
- The composite image includes a map of Aomori Prefecture with the following labels: 鳳仙沼市, 南三陸町, 登米市, 栗原市, 大崎市, 加美町, 色麻町, 大衡村, 大和町, 大郷町, 松島町, 東松島市, 石巻市, 女川町, 美里町, 涌谷町, 富谷市, 利府町, 塩竈市, 七ヶ浜町, 多賀城市, 仙台市, 川崎町, 名取市, 村田町, 蔵王町, 柴田町, 大河原町, 七ヶ宿町, 白石市, 角田市, 山元町, 丸森町, 岩沼市, 亶理町.
- The three smaller photographs show: a festival float with colorful lanterns and streamers; a statue of a samurai on horseback; and a coastal landscape with a traditional building on a rocky shore.

東日本大震災の概要

➤ 東北地方太平洋沖地震の概況

発生日時： 平成23年3月11日(金) 14時46分
震源： 三陸沖（牡鹿半島の東南東 約130 km 付近），深さ約24 km
規模： マグニチュード9.0
最大震度： 震度7（栗原市）

➤ 津波の痕跡調査結果

沿岸部全域にわたって非常に高い津波を観測
平野部：10m以上，リアス式海岸：20m以上

➤ 人的被害（平成24年3月7日時点）

死者： 9,544人
行方不明者： 1,688人

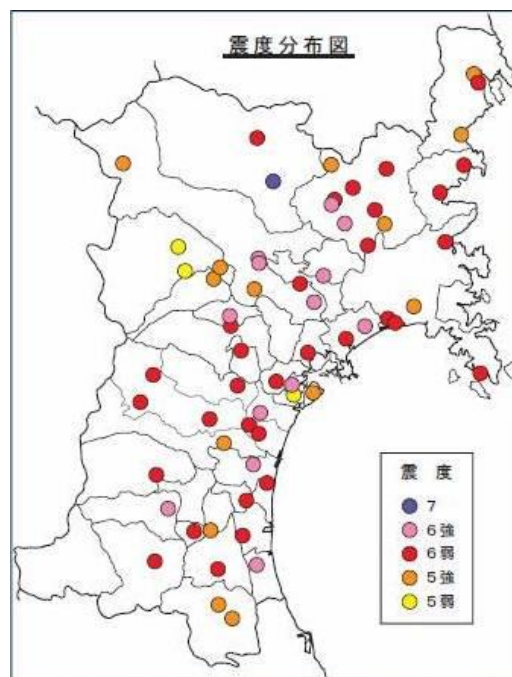
➤ 住家被害（平成24年3月7日時点）

全壊： 84,610棟
半壊： 147,091棟

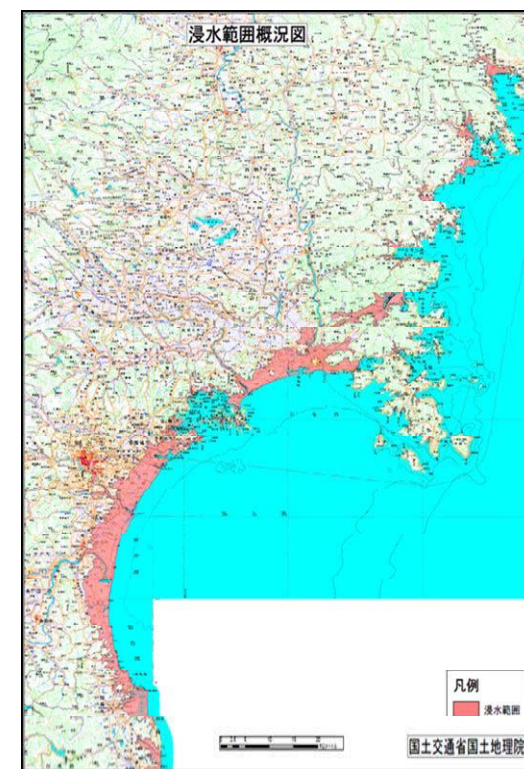
医療機関	全施設数	全壊	損壊	被害計	被害%
病院	147	6	95	101	69
診療所(内科)	1626	34	229	263	16
診療所(歯科)	1060	59	325	384	36
計	2833	99	649	748	26

障害福祉施設	全施設数	全壊	損壊	被害計	被害%
入所系施設	46	0	27	27	59
グループホーム・ケアホーム	94	9	26	35	37
通所系施設	248	14	74	88	35
居宅介護施設	22	2	0	2	9
その他施設	86	6	18	24	28
計	496	31	145	176	35

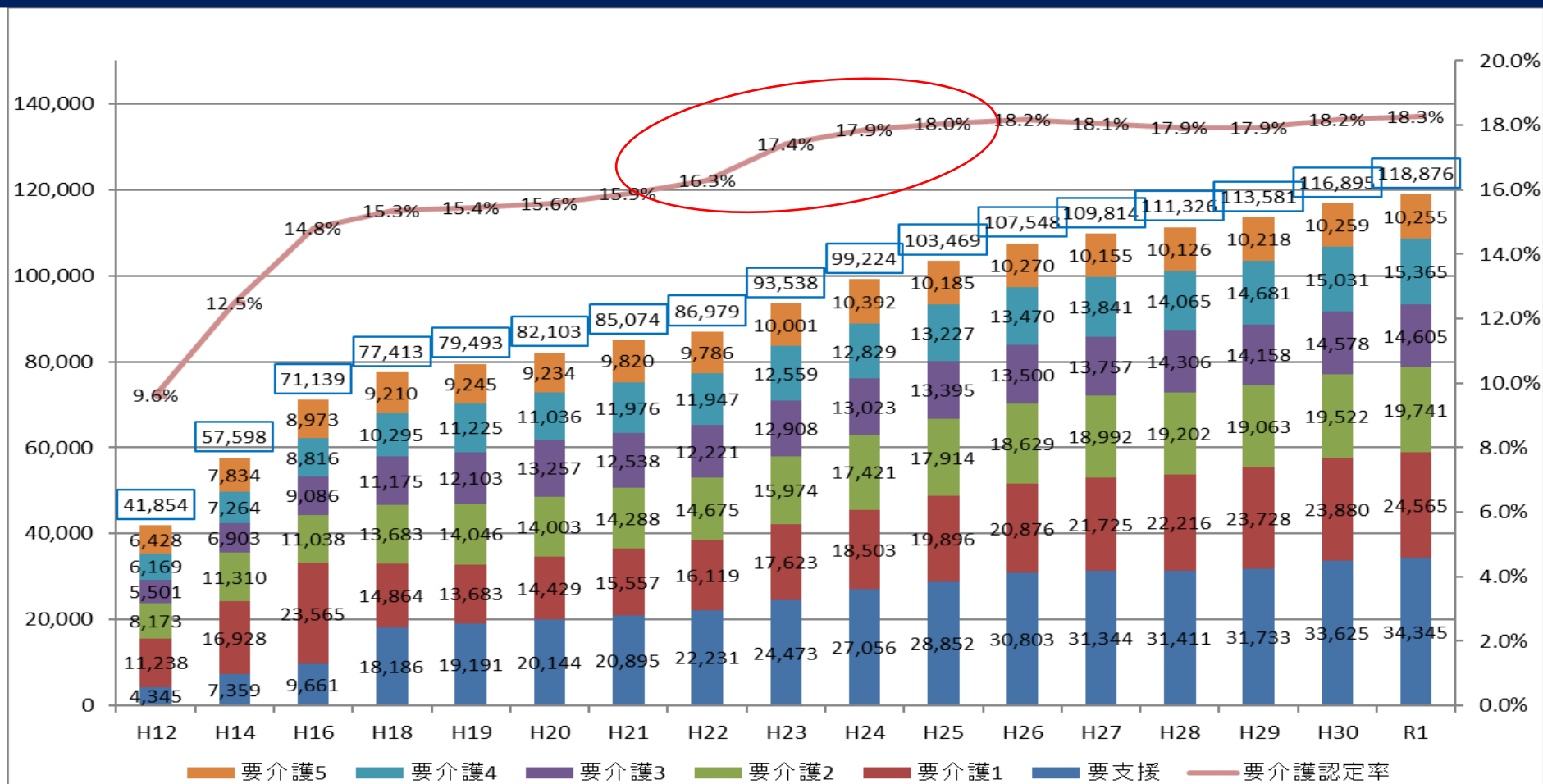
入所系高齢者施設	全施設数	全壊	損壊	被害計	被害%
特別養護老人ホーム	121	10	8	18	15
養護老人ホーム	10	1	1	2	20
介護老人保健施設	80	2	7	9	11
ケアハウス(軽費老人ホーム)	45	5	4	9	20
認知症高齢者グループホーム	207	20	2	22	11
計	463	38	22	60	13



（宮城県危機対策課資料より）



要支援・要介護認定者及び要介護認定率の推移

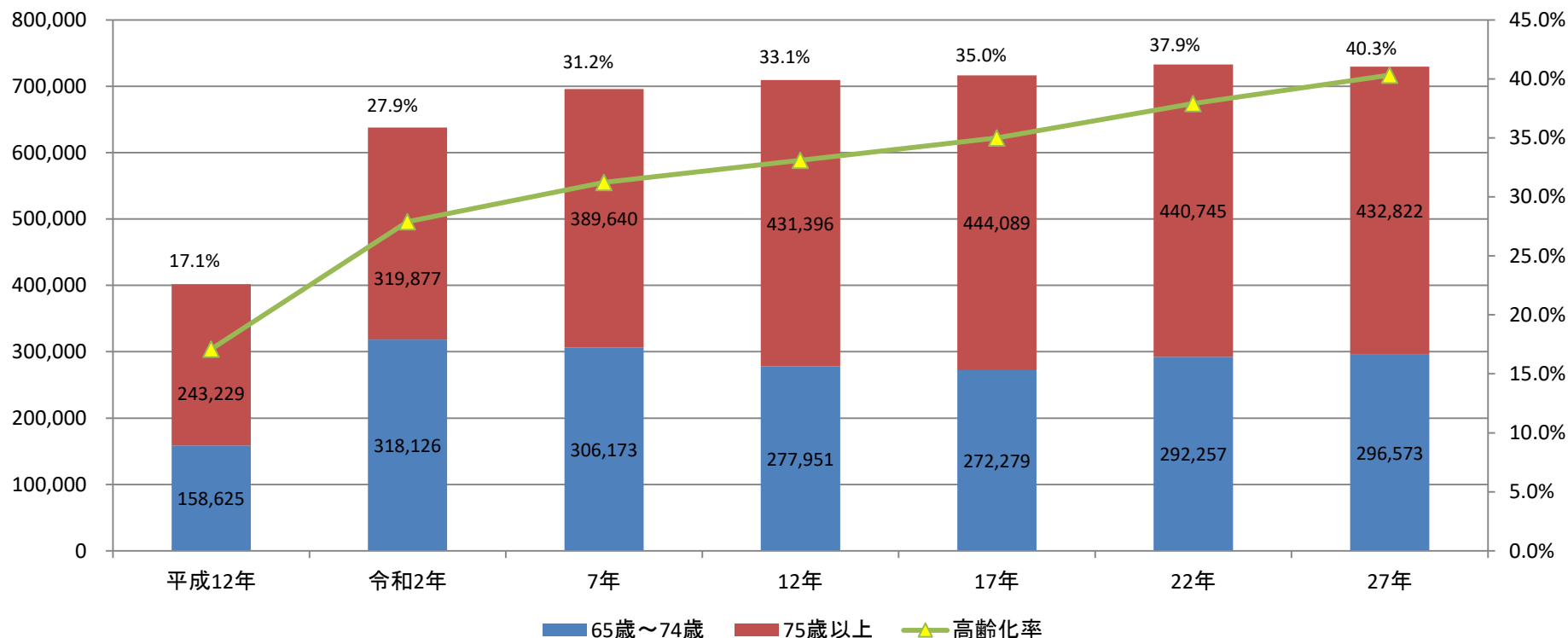


資料：介護保険事業状況報告

要介護認定者数は、増加傾向にあり、なかでも生活機能障害が比較的軽度な要支援認定者数は要介護認定者全体の28.9%と、4人に1人以上の高い割合を占めている。



高齢者人口と高齢化率の推移

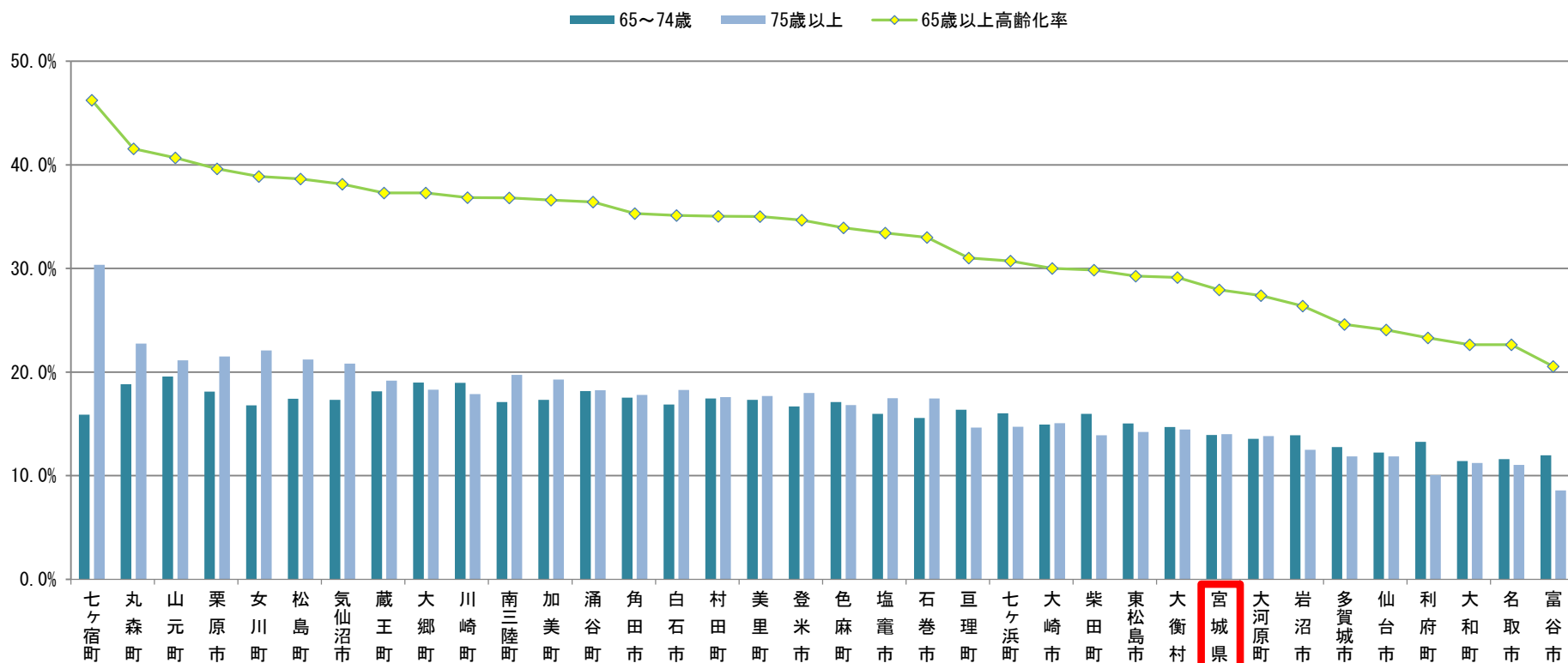


令和2年までは県長寿社会政策課調べ（各年3月末）、令和7年～27年は国立社会保障・人口問題研究所推計値

令和2年(2020年)3月末時点27.9%であった県全体の高齢化率は、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、令和7年(2025年)には31.2%、令和22年(2040年)までに37.9%まで上昇するものと見込まれている。特に後期高齢者が増加していくものと予想されている。

高齢者数は、令和22年に約73万3千人まで増加するが、その後は減少するものと見込まれている。

県内市町村の高齢化率

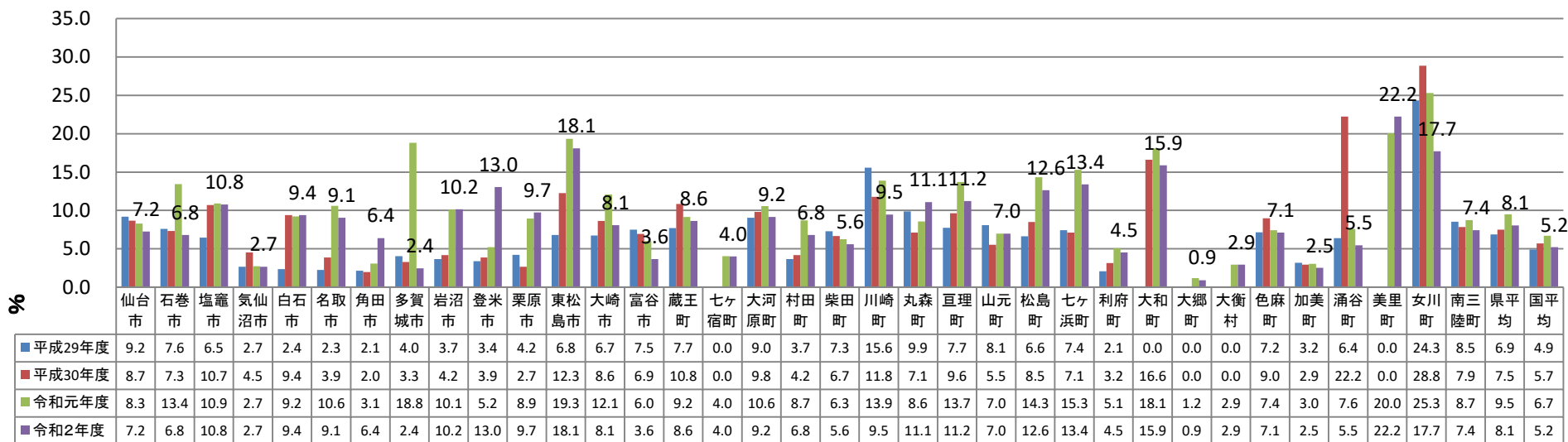


県長寿社会政策課調べ（令和2年3月末現在）

令和2年3月末時点の県内総人口に占める65歳から74歳の高齢者，75歳以上高齢者の割合をみると，高齢化率が高い市町村を中心に65歳から74歳よりも75歳以上高齢者の割合が高い市町村が多くなっている。



県内市町村の通いの場（全体）への参加率



住民主体の通いの場

年齢や心身の状況等によって
高齢者を分け隔てることなく、
誰でも一緒に
参加することが
できる社会
参加の場



項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
高齢者人口(65歳以上人口)	602, 763人	616, 101人	626, 564人	635, 388人	644, 431人
1 介護予防に資する住民主体の通いの場の有無	24市町村	29市町村	31市町村	35市町村	35市町村
箇所数	1, 691箇所	2, 469箇所	2, 674箇所	3, 676箇所	3, 418箇所
参加人数	29, 749人	42, 265人	46, 987人	60, 276人	51, 962人
通いの場(全体)への参加率(※1)	4. 9%	6. 9%	7. 5%	9. 5%	8. 1%
(全国平均)	4. 2%	4. 9%	5. 7%	6. 7%	5. 2%
2 週1回以上の実施箇所数	374箇所	633箇所	725箇所	1, 049箇所	930箇所
参加人数	5, 882人	10, 159人	11, 917人	15, 729人	12, 783人
週1回以上の通いの場への参加率(※3)	1. 0%	1. 6%	1. 9%	2. 5%	2. 0%
(全国平均)	1. 4%	1. 7%	2. 2%	2. 6%	2. 1%



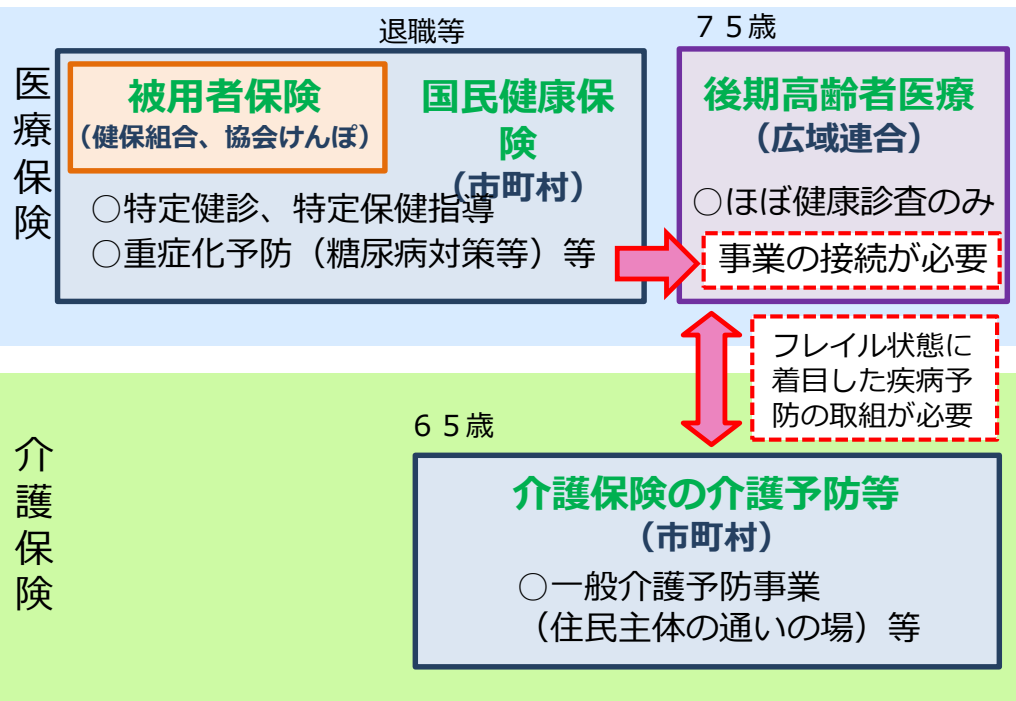
宮城県フレイル対策市町村サポート事業について

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

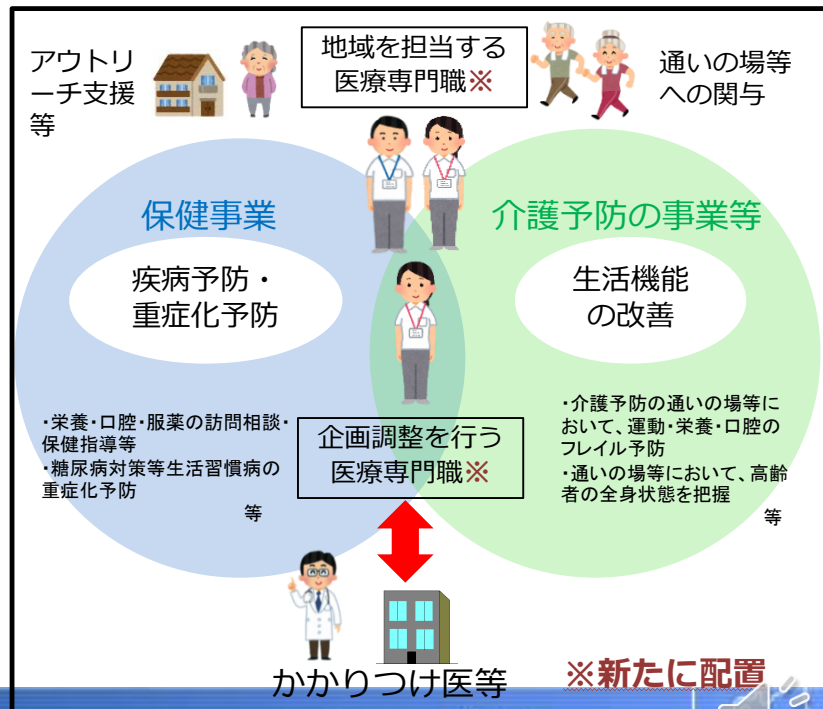
- ・ **高齢者保健事業を国民健康保険保健事業及び介護予防の取組と一体的に実施する取組が令和2年4月から開始**された。

- 令和2年度の実施計画申請済みの市町村は **361市町村**、全体の**約2割**（R3.2現在）。
- 令和3年度から開始予定の市町村は **494市町村**（高齢者医療課調べ）。
- 令和3年度中に、全体の**約5割**の市町村で実施される予定。
- **令和6年度までに全ての市町村**において一体的な実施を展開することを目指す。

▼保健事業と介護予防の現状と課題



▼一体的実施イメージ図



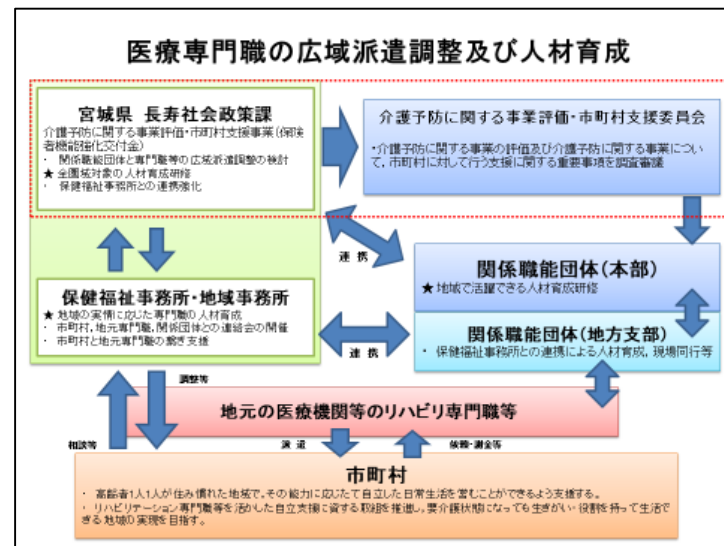
一体的実施に係る県内市町村の現状と当県の強み

➤ 市町村の現状

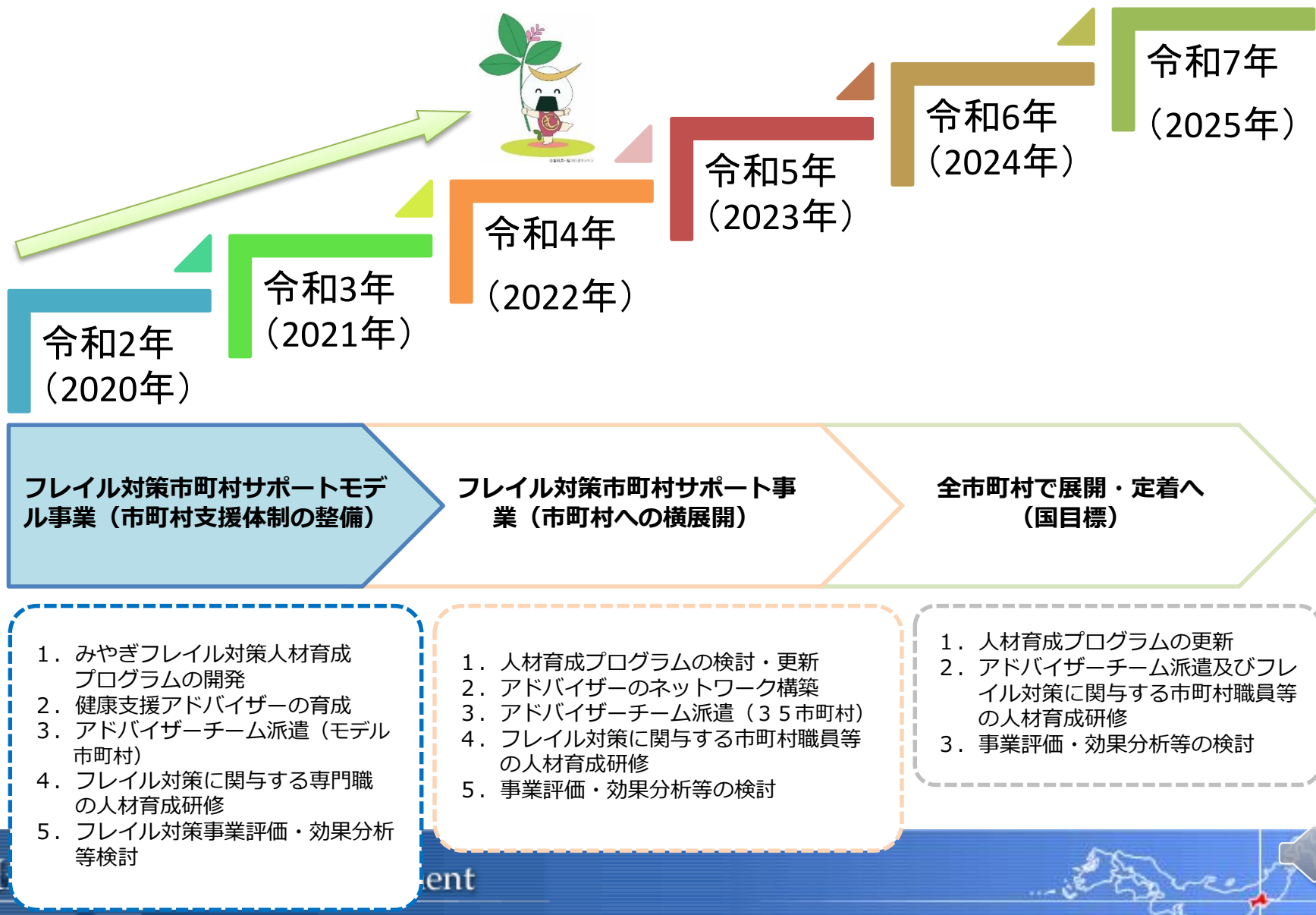
- ・ 後期高齢者の増加，フレイル高齢者の増加（コロナの影響等）
- ・ **医療専門職の確保と人材育成に苦慮（地域の人材・資源不足等）**
- ・ 庁内連携に苦慮（保健事業部門と介護予防部門の建物が別等）
- ・ 地域診断の偏り（保健事業部門，介護予防部門がそれぞれに現状分析等）
- ・ 地域格差が生じている（地域特性もありR4は15市町で実施）

➤ 当県の強み

- ・ 住民主体の通いの場の参加率が高い
- ・ 全市町村に保健師のみならず栄養士が配置，さらに県保健福祉事務所には保健師，栄養士に加え，リハビリテーション専門職が配置
- ・ **介護予防分野においては，医療専門職の広域派遣調整及び人材育成体制が構築（右図）**



宮城県フレイル対策市町村サポート事業 ロードマップ



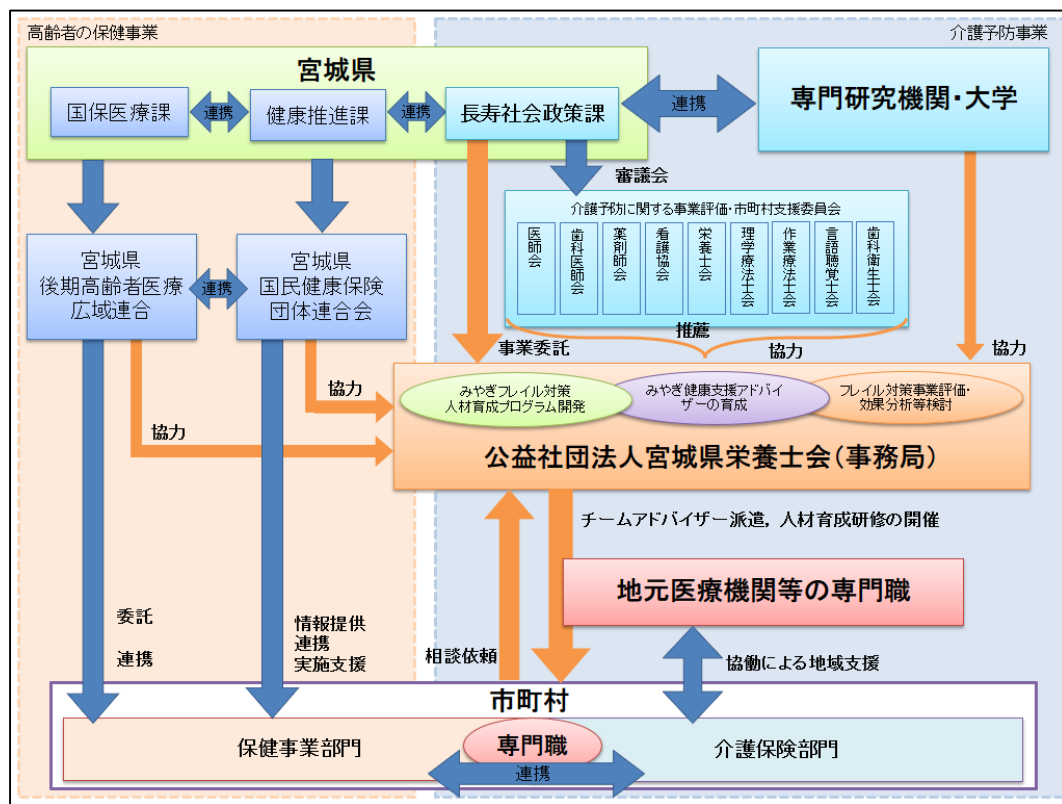
宮城県フレイル対策市町村サポート事業の目的

市町村が高齢者の健康寿命延伸に向け、効果的な「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」を効率的にできるよう、関係団体との連携・協働により技術的な支援を行う。

併せて、当県の課題解決に向け、フレイル対策の要となる低栄養の問題に対し、通いの場等で地域支援ができる栄養士の人材確保と育成を推進する。



©宮城県・越プロダクション



宮城県フレイル対策市町村サポート事業の事業内容

1. みやぎフレイル対策人材育成プログラムの検討

当県の実情に応じた人材育成プログラムとして、みやぎ健康支援アドバイザー養成研修及びフレイル対策に関する市町村職員等人材育成研修のカリキュラム更新等を行う。

2. みやぎ健康支援アドバイザーのネットワークの構築

2025年、2040年を見据え、県内の医療専門職等の団体と連携協働して養成したみやぎ健康支援アドバイザーのスキルアップとチーム力の向上を図る。

3. みやぎ健康支援アドバイザーチーム派遣による市町村支援

市町村担当職員が通いの場等への積極的関与ができるよう、派遣要請のあった市町村に対し、みやぎ健康支援アドバイザーチームを派遣してアウトリーチ型伴走支援を行う。

4. フレイル対策に関する市町村職員等の人材育成

地域で活躍できる専門職等の人材育成として、市町村職員等を対象に研修を行う。

5. フレイル対策事業評価・効果分析等の検討

専門機関及び関係団体等と連携して、高齢者の健康状態や生活状況等の包括的な把握方法や実施体制を検討し、地域の実情に応じた介護予防・フレイル対策、認知症予防の取組の効果分析等を行う。



宮城県フレイル対策市町村サポート事業の事業内容

1. みやぎフレイル対策人材育成プログラムの検討

当県の実情に応じた人材育成プログラムとして、みやぎ健康支援アドバイザー養成研修及びフレイル対策に関する市町村職員等人材育成研修のカリキュラム更新等を行う。

2. みやぎ健康支援アドバイザーのネットワークの構築

2025年、2040年を見据え、県内の医療専門職等の団体と連携協働して養成したみやぎ健康支援アドバイザーのスキルアップとチーム力の向上を図る。

3. みやぎ健康支援アドバイザーチーム派遣による市町村支援

市町村担当職員が通いの場等への積極的関与ができるよう、派遣要請のあった市町村に対し、みやぎ健康支援アドバイザーチームを派遣してアウトリーチ型伴走支援を行う。

4. フレイル対策に関する市町村職員等の人材育成

地域で活躍できる専門職等の人材育成として、市町村職員等を対象に研修を行う。

5. フレイル対策事業評価・効果分析等の検討

専門機関及び関係団体等と連携して、高齢者の健康状態や生活状況等の包括的な把握方法や実施体制を検討し、地域の実情に応じた介護予防・フレイル対策、認知症予防の取組の効果分析等を行う。

1. みやぎフレイル対策人材育成プログラムの検討

みやぎ健康支援アドバイザー養成カリキュラム

1. 宮城県フレイル対策市町村サポートモデル事業の理解

(1) 宮城県の高齢者の現状と介護予防について

2. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の理解

(1) 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の重要性について

(2) 高齢者の特性を踏まえた保険事業ガイドライン第2版について

(3) 市町村における「高齢者保健事業と介護予防の一体的実施」のための進捗チェックリストガイド

(4) 市町村が行う「高齢者保健事業と介護予防の一体的実施」の実践について

(5) 介護予防・健康づくりと社会環境の整備について

(6) フレイル対策で考えていただきたいこと

3. 関係団体の理解

(1) 宮城県後期高齢者医療広域連合と後期高齢者医療制度の概要について

(2) 宮城県国民健康保険団体連合会と国保保険者の保健事業支援について

4. 地域包括ケアシステムの深化・推進と多職種連携の理解

(1) 医師による実践報告

(2) 歯科医師による実践報告

(3) 薬剤師による実践報告

(4) 管理栄養士による実践報告

(5) 歯科衛生士による実践報告

(6) 理学療法士による実践報告

(7) 作業療法士による実践報告

(8) 言語聴覚士による実践報告

5. 市町村アウトリーチ型伴走支援技術

(1) フレイル対策に活かすコーチング

(2) 公衆衛生における新型コロナウイルス感染症対策の基本

フレイル対策に関与する専門職の人材育成研修カリキュラム

1. 基礎編

(1) 宮城県フレイル対策市町村サポートモデル事業の概要について

(2) 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」とフレイル対策について

(3) フレイル対策で考えていただきたいこと

(4) 効果的なフレイル対策の展開に向けて

(5) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る医療専門職の役割について

2. 実践編

(1) 薬剤師の実践例

(2) 管理栄養士の実践例

(3) 歯科衛生士の実践例

(4) 理学療法士の実践例

(5) 作業療法士の実践例

(6) 言語聴覚士の実践例

3. 参考資料編（みやぎ健康支援アドバイザーによるフレイル対策に関する動画）

(1) フレイルとオーラルフレイル（歯科衛生士・管理栄養士）

(2) フレイルを予防するための食事と運動（理学療法士・管理栄養士）

(3) 住み慣れた地域で自分らしく～明日からできるフレイル予防～（薬剤師・管理栄養士）

(4) 管理栄養士による健康教室 作業療法士との協働編（作業療法士・管理栄養士）

(5) 管理栄養士による健康教室 言語聴覚士との協働編（言語聴覚士・管理栄養士）



宮城県フレイル対策市町村サポート事業の事業内容

1. みやぎフレイル対策人材育成プログラムの検討

当県の実情に応じた人材育成プログラムとして、みやぎ健康支援アドバイザー養成研修及びフレイル対策に関する市町村職員等人材育成研修のカリキュラム更新等を行う。

2. みやぎ健康支援アドバイザーのネットワークの構築

2025年、2040年を見据え、県内の医療専門職等の団体と連携協働して養成したみやぎ健康支援アドバイザーのスキルアップとチーム力の向上を図る。

3. みやぎ健康支援アドバイザーチーム派遣による市町村支援

市町村担当職員が通いの場等への積極的関与ができるよう、派遣要請のあった市町村に対し、みやぎ健康支援アドバイザーチームを派遣してアウトリーチ型伴走支援を行う。

4. フレイル対策に関する市町村職員等の人材育成

地域で活躍できる専門職等の人材育成として、市町村職員等を対象に研修を行う。

5. フレイル対策事業評価・効果分析等の検討

専門機関及び関係団体等と連携して、高齢者の健康状態や生活状況等の包括的な把握方法や実施体制を検討し、地域の実情に応じた介護予防・フレイル対策、認知症予防の取組の効果分析等を行う。



2. みやぎ健康支援アドバイザーのネットワークの構築



R2：養成研修 3 回

R3：フォローアップ研修 3 回，ネットワーク連絡会 3 回

みやぎ健康支援アドバイザー 52 人

宮城県フレイル対策市町村サポート事業の事業内容

1. みやぎフレイル対策人材育成プログラムの検討

当県の実情に応じた人材育成プログラムとして、みやぎ健康支援アドバイザー養成研修及びフレイル対策に関する市町村職員等人材育成研修のカリキュラム更新等を行う。

2. みやぎ健康支援アドバイザーのネットワークの構築

2025年、2040年を見据え、県内の医療専門職等の団体と連携協働して養成したみやぎ健康支援アドバイザーのスキルアップとチーム力の向上を図る。

3. みやぎ健康支援アドバイザーチーム派遣による市町村支援

市町村担当職員が通いの場等への積極的関与ができるよう、派遣要請のあった市町村に対し、みやぎ健康支援アドバイザーチームを派遣してアウトリーチ型伴走支援を行う。

4. フレイル対策に関する市町村職員等の人材育成

地域で活躍できる専門職等の人材育成として、市町村職員等を対象に研修を行う。

5. フレイル対策事業評価・効果分析等の検討

専門機関及び関係団体等と連携して、高齢者の健康状態や生活状況等の包括的な把握方法や実施体制を検討し、地域の実情に応じた介護予防・フレイル対策、認知症予防の取組の効果分析等を行う。



3. みやぎ健康支援アドバイザーチーム派遣による市町村支援

市町村がその強みを活かし、地域の実情に応じた各事業を効果的・効率的に展開でき、そこに住む高齢者の普通の暮らしを支えることができるよう、市町村担当職員の自発的な気づきと行動を引き出し、地域課題の分析及び関係者間の合意形成等のサポートを行うことを目的とする。

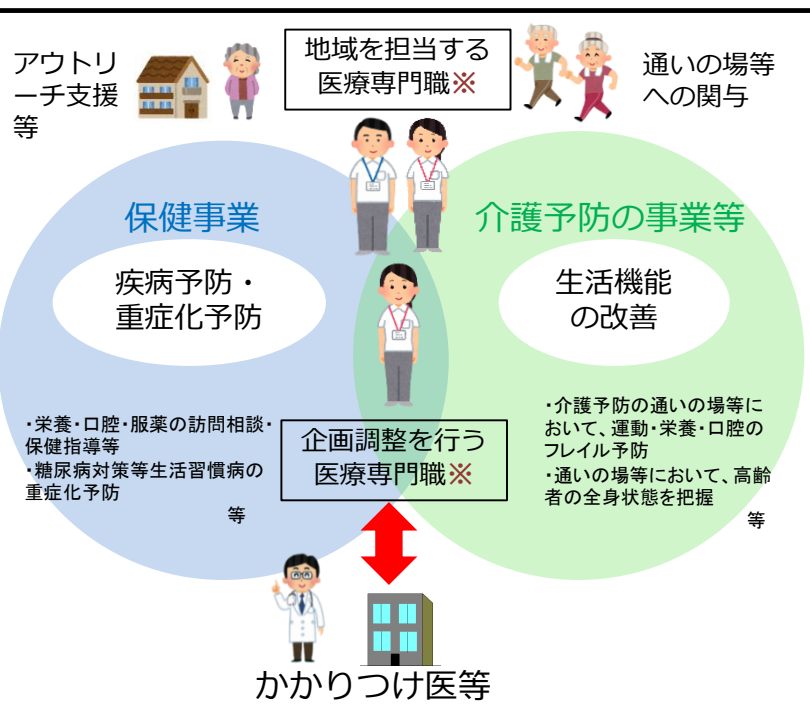
『普通の暮らし』を守るための支援

専門職等に求められる役割は、「医療モデル」の地域への持ち込み（サービスありきの繋ぎ支援）ではなく、「医療モデル」から「生活モデル」への転換であり、「できるだけ本人の『普通の暮らし』を守る」ための支援。具体的には以下の2つ。

意欲の源を見極める

なじみの関係を守る

1. 廃用・重度化予防（再入院・施設入所リスクを防ぐ）
 - ・本人の「よくなりたい」という意欲を引き出す。
 - ・廃用予防（運動・リハビリ）、医学的管理（通院・服薬）、栄養管理（食事・水分）の助言等
2. 生活支援・自立支援（自宅での生活が成り立っている）
 - ・「こんな生活をしたい」を実現するため、できないところ（だけ）を支援。
 - ・制度になくても生活に役に立つものを見つける、探す、創り出す等



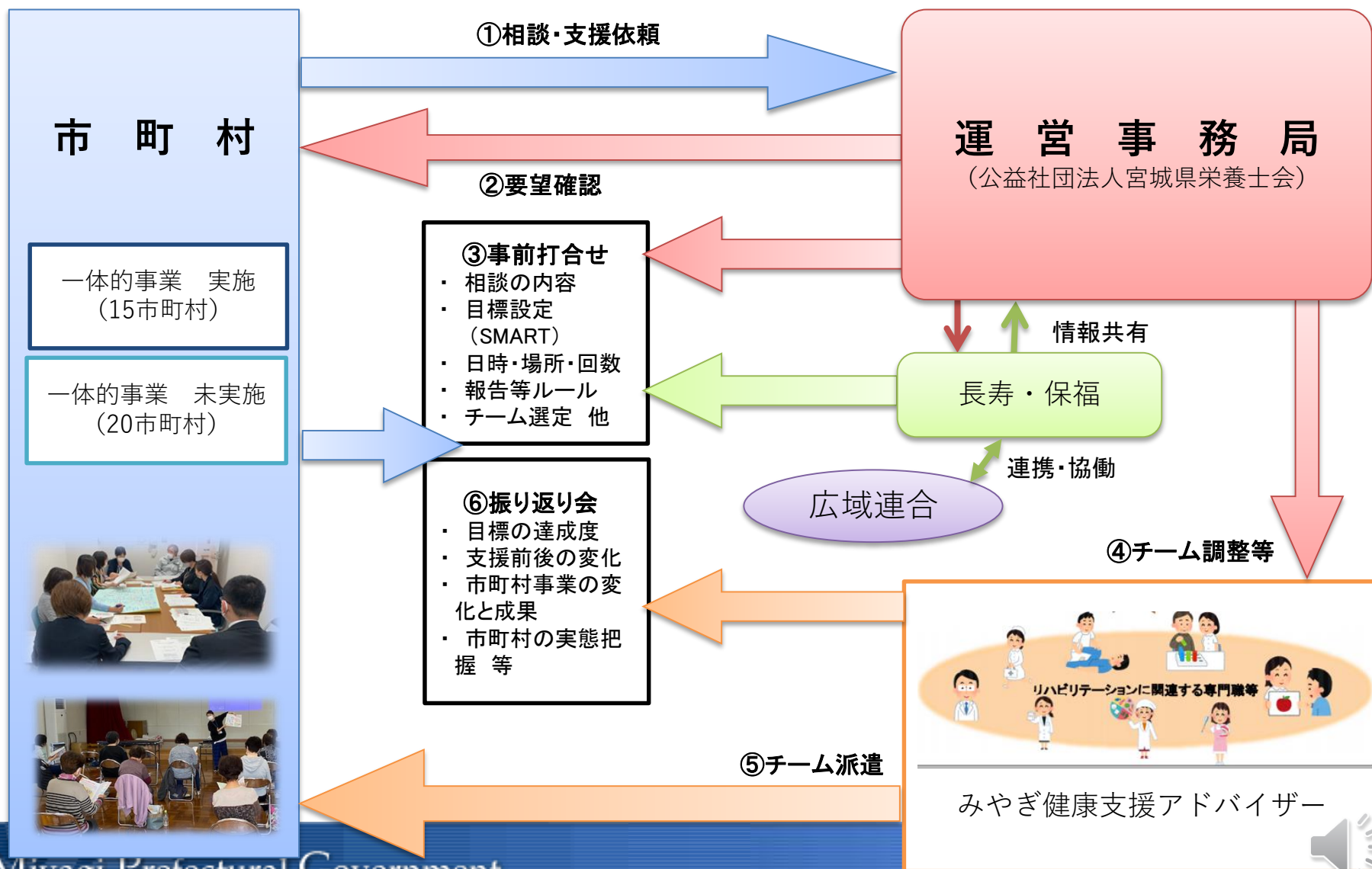
市町村支援

- 専門的支援（専門的助言等）
- 広域的支援（客観的視点での支援）
- 関係団体との繋ぎ（庁内、委託先等関係団体との連携強化）
- 現状分析支援（ありたい姿、現状、課題の整理）
- 情報提供（制度、全国及び県内の実態、先行事例等）
- 担当者への精神的サポート

想定される支援内容

- 事業計画や事業評価に関する専門的技術的な助言等
- 高齢者のいる世帯や通いの場等に出向き支援する専門職等への専門的技術的な助言等
- ケースカンファレンスでの専門的技術的な助言等
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の立ち上げに係る専門職の役割の整理
- 新任職員や人事異動の職員等を対象にした研修会や勉強会の講師
- その他、フレイル対策の推進につながるもの

みやぎ健康支援アドバイザーチーム派遣の流れ



モデル市町へのみやぎ健康支援アドバイザーチーム派遣の様子



R3年度モデル3市町に
11回延べ41人を派遣



モデル市町からのご意見（振り返り会より一部抜粋）

- 批判否定せずに寄り添って一緒に考えていただきとても良かったです。
- 依頼内容に限定せず、それに付随する内容に関しても助言いただき、とても充実した時間でした。
- 各職種から確認すべきポイントについて具体的に助言いただき、この事業を活用してよかったと思います。
- 一つ一つの事例に丁寧に、実例などを交えながらお話いただいたので、今後の事業対応に生かせると思いました。
- 現場で悩んでいた対象者の状況や悩み応じた対応について、専門的アドバイスをいただくことができ、学ぶことができました。
- 専門的な知識はもちろんですが、自分にはない視点や違う角度からのアドバイスをいただくことができ、大変参考になりました。
- 広い経験と知識をもった多職種のADと話し合うことで違った視点から物事を捉えることができた。
- 専門職からの意見をきくことができ、事業の進め方等に役立てた。
- 行政や現場にいる職種だけでは気づけないことをアドバイスいただくことができたため、わからない情報がある、ということに改めて気づき、自身の勉強が必要だと感じるとともに、適切に支援していくためには、様々な専門の方にご相談させていただき、アドバイスをいただく機会も必要かと感じました。
- 支援中は、自分が知っている範囲内で支援を進めてしまい、それが合っているのか等、第三者の客観的な意見を聞くことで支援の幅が広がることを再認識しました。



モデル市町からのご意見（振り返り会より一部抜粋）

- これで良いのかな？と疑問に思いながら行っていたことに適切にアドバイスをいただき、安心につながりました。
- 様々な職種とつながることで、より良い学びを得られると感じました。
- 自分では気づかない指導のポイントの助言をいただけて良かった。
- 現状を認めつつも、より良くなるようなアドバイスを伺えました。実現できそうなアドバイスばかりで安心しました。
- 自分の市町しか様子を知らなかったので、大変参考になりました。
- 少数職種でもあり、同職種の方に自分の健康教育をみてもらい、アドバイスをいただいたことがなかったので、自分では気づけていなかったことに気づき、振り返る機会となりました。
- その場で振り返りながら具体的なアドバイスをいただくことで、自身の改善点についてタイムリーに気づくことができ、今後活かしていきたいと感じました。
- 他市町村での実施している内容を伺うことができ、マネができたらいいなと思っています。
- 集団で健康教育を行う際は、その「集団」でしか見ていなかったですが、集団の中での支援が必要な人を見極める視点も大切であることを気づかされました。
- 高齢者の特性に合わせ、分かりやすい指導内容にかえていく。



宮城県フレイル対策市町村サポート事業の事業内容

1. みやぎフレイル対策人材育成プログラムの検討

当県の実情に応じた人材育成プログラムとして、みやぎ健康支援アドバイザー養成研修及びフレイル対策に関する市町村職員等人材育成研修のカリキュラム更新等を行う。

2. みやぎ健康支援アドバイザーのネットワークの構築

2025年、2040年を見据え、県内の医療専門職等の団体と連携協働して養成したみやぎ健康支援アドバイザーのスキルアップとチーム力の向上を図る。

3. みやぎ健康支援アドバイザーチーム派遣による市町村支援

市町村担当職員が通いの場等への積極的関与ができるよう、派遣要請のあった市町村に対し、みやぎ健康支援アドバイザーチームを派遣してアウトリーチ型伴走支援を行う。

4. フレイル対策に関する市町村職員等の人材育成

地域で活躍できる専門職等の人材育成として、市町村職員等を対象に研修を行う。

5. フレイル対策事業評価・効果分析等の検討

専門機関及び関係団体等と連携して、高齢者の健康状態や生活状況等の包括的な把握方法や実施体制を検討し、地域の実情に応じた介護予防・フレイル対策、認知症予防の取組の効果分析等を行う。



4. フレイル対策に関する市町村職員等の人材育成

①第1回

日時：令和3年度11月26日（金）午前9時30分～午後3時30分

参加人数：148名（23市町村），アンケート回収数：49枚（回収率33.1 %）

②第2回

日時：令和3年12月10日（金）午前10時30分～午後4時30分

参加人数：188名（25市町村），アンケート回収数：44枚（回収率23.4%）

③第3回

日時：令和4年1月21日（金）午前10時30分～午後3時30分

参加人数：111名（18市町村），アンケート回収数：36枚（回収率32.4%）

所 属	1回目	2回目	3回目
宮城県保健福祉事務所	2	0	0
国保連合会	3	0	5
国保年金課	0	0	1
国保部門(保健事業)	0	1	0
市町村(介護予防)	3	2	2
市町村(保健事業)	18	17	12
地域包括支援センター(直営)	2	2	4
地域包括支援センター(委託)	21	22	12

職 種	1回目	2回目	3回目
保健師	24	16	16
看護師	8	16	5
管理栄養士	9	7	7
栄養士	1	1	1
介護支援専門員	0	2	2
作業療法士	1	0	0
歯科衛生士	0	1	0
事務職	2	1	3
社会福祉士	0	0	1
生活支援コーディネーター	1	0	0
その他	3	0	1

所属先では、第1回目、第2回目は地域包括支援センター（委託）が最も多く、次いで市町村（保健事業）、市町村（介護予防）、地域包括支援センター（直営）であった。第3回目は、地域包括支援センター（委託）と市町村（保健事業）が最も多く、次いで国保連合会、市町村（介護予防）、国保年金課であった。

職種では、3回とも保健師の参加が最も多く、次いで看護師、管理栄養士、事務職の参加が多かった。



令和4年度市町村支援研修会の実施計画

月	保健事業(広域連合・国保連)	介護予防(長寿社会政策課)
6	15・16 高齢者の保健事業セミナー(主催:国保連・広域連合, 後援:宮城県)	
7	13 市町村担当課長セミナー, みやぎ健康支援アドバイザーチーム派遣による市町村支援等説明会(共催:宮城県・広域連合)	
8	10 地域診断・事業計画立案担当者研修会①(共催:広域連合・宮城県)	
9	6・22 地域診断・事業計画立案担当者研修会②③(共催:広域連合・宮城県)	30 行政栄養士向け研修会 (主催:宮城県, 協力:広域連合)
12		9 医療専門職等向け研修会(基礎)① (主催:宮城県, 協力:広域連合)
2		3 医療専門職等向け研修会(実践)② (主催:宮城県, 協力:広域連合)



市町村に向け動画教材のユーチューブ配信

フレイル・オーラルフレイルとは
管理栄養士×歯科衛生士
再生回数 61回



フレイルを予防するための食事とみんなで取り組むフレイル予防
管理栄養士×理学療法士
再生回数43回



住み慣れた地域で自分らしく
～明日からできるフレイル予防～
管理栄養士×薬剤師
再生回数33回



管理栄養士による健康教室
～作業療法士との協働編～
管理栄養士×作業療法士
再生数30回



管理栄養士による健康教室
～言語聴覚士との協働編～
管理栄養士×言語聴覚士
再生回数24回



【動画視聴後のアンケート（自由記載部分）】

- ・地域で健康教室を開催するのに参考にしたいです。
- ・教室開催後に口頭で質問し、出席者の理解度をその場で確認できてよいと思いました。
- ・実際に健康教室などで使用するパネルの作成方法が知りたいです。
- ・認知機能の低下してきている高齢者も出席するため、伝わりやすい伝達方法を知りたいです。実際にどのように工夫しているか教えてほしいです。

宮城県フレイル対策市町村サポート事業の事業内容

1. みやぎフレイル対策人材育成プログラムの検討

当県の実情に応じた人材育成プログラムとして、みやぎ健康支援アドバイザー養成研修及びフレイル対策に関する市町村職員等人材育成研修のカリキュラム更新等を行う。

2. みやぎ健康支援アドバイザーのネットワークの構築

2025年、2040年を見据え、県内の医療専門職等の団体と連携協働して養成したみやぎ健康支援アドバイザーのスキルアップとチーム力の向上を図る。

3. みやぎ健康支援アドバイザーチーム派遣による市町村支援

市町村担当職員が通いの場等への積極的関与ができるよう、派遣要請のあった市町村に対し、みやぎ健康支援アドバイザーチームを派遣してアウトリーチ型伴走支援を行う。

4. フレイル対策に関する市町村職員等の人材育成

地域で活躍できる専門職等の人材育成として、市町村職員等を対象に研修を行う。

5. フレイル対策事業評価・効果分析等の検討

専門機関及び関係団体等と連携して、高齢者の健康状態や生活状況等の包括的な把握方法や実施体制を検討し、地域の実情に応じた介護予防・フレイル対策、認知症予防の取組の効果分析等を行う。

5. フレイル対策事業評価・効果分析等の検討

- フレイルや閉じこもりの高齢者は、健診や通いの場などに参加できていない場合は少なくない。
- 一方で、高齢者の約95%が医療を受診しており、その多くは高血圧性疾患、脳血管疾患、筋骨格系疾患など複数の慢性疾患を有し、重度化予防の取組が求められている。
- 研究機関等との連携協働により高齢者の健康状態・生活状況等の効果的な把握方法及び体制を検討し、自立支援・重度化防止の取組に繋げる。



地域の保険薬局で待ち時間
を利用し、フレイルチェック。

本人に結果を伝え、フレイル予防
の普及啓発を図る。併せて、フレイ
ル該当者は市町村へ報告。

健診、介護予防事業、医療
等に接続。

- ・ 65歳以上の高齢者で医療を受診している方を対象にフレイル状態の把握と予防を支援する。
- ・ 把握した状況をもとに市町村(地域包括支援センター含む)による個別健康支援に繋げる。併せて健診率の向上をめざす。
- ・ さらに、把握したデータ分析を行い、効果的なフレイル対策に繋げる。



高齢者の健康状態・生活状況等の効果的な把握方法及び体制の検討モデル事業

<目的>

- ①薬剤師との連携強化
②町内保険薬局を利用する高齢者の状態像の把握

<内容>

美里町在住の65歳以上の町民を対象に「いきいき健康度チェック（フレイルチェック）」を実施し、高齢者の実態を把握するとともに、フレイル予防の普及啓発を図る。併せて、フレイルチェック該当者については、美里町が実施する健診、介護予防事業で支援を行う。

＜期間＞

令和4年1月11日（火）から令和4
年2月28日（月）まで

＜実施主体＞

美里町, 宮城県

＜協力機関＞

美里町内保険薬局，一般社団法人
宮城県薬剤師会，東北大学大学院
医学系研究科公衆衛生学分野



令和3年度宮城県フレイル対策市町村サポートモデル事業

65歳以上の町民のみなさまへ いきいき健康度チェック (フレイルチェック) ご協力のお願い

新型コロナウイルス感染症の影響で長期間の外出自粛により『フレイル（虚弱）』が進み、心と身体のみならず、免疫力が低下し、感染症にもかかり易くなってしまう可能性があります。

美里町と宮城県では、県民の皆様への『フレイル予防』のため、保険薬局の薬剤師の皆様と連携し、必要に応じて、健康づくり・介護予防のサポートをさせていただきます。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

実施期間

令和4年1月11日から2月28日まで

対象者

美里町にお住まいの65歳以上の方

方法

保険薬局の待ち時間にいきいき健康度チェック（フレイルチェック）を実施します

美里町・宮城県・一般社団法人宮城県薬剤師会

第2回 金・キ・ダ・ダ・ダ 練習問題

宮城県フレイル対策市町村サポートモデル事業

いきいき健康度 チェック票

氏名 _____ 男 ・ 女

大正・昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 生 誕

電話番号 _____

(市がご連絡して頂く場合)

現在の日付 令和4年 _____ 月 _____ 日 曜日

◎フレイル予防は、まずは元気になることに、とても大切になります。あなたの今の様子を教えてください。

1. 身長 _____ cm 体重 _____ kg

2. 家族構成 あなたはまる回答を○で囲んでください。

① 一人暮らし ② 夫婦のみ ③ 親子 ④ 三世代

⑤その他【 _____ 】

3. 地域のお茶の会以外に通う場所や教習など、
ありますか。

① はい ()

② いいえ

4. 健康についての15の質問が裏面にありますので、

あなたはまる回答を○で囲んでください。

	① はい ② まあいい ③ どちら ④ あまりでもない ⑤ 全くない
	① 毎日 ② やや頻回 ③ 時々や頻回 ④ 不常
くすりま	① はい ② はい
	① はい ② はい
お薬いま	① はい ② はい
食たご	① はい ② はい
が	① はい ② はい
うはいてい	① はい ② はい
うはどの	① はい ② はい
うまつか	① はい ② はい
	① はい ② はい
うまつか	① はい ② はい
	① はい ② はい

10. 毎日の生活の中で、身近に相談できるひとがいますか

家族や知人の他に、本施設を利用することによって
知見しやすか

① はい ② はい
③ はい ④ はい
⑤ はい ⑥ はい

御協力ありがとうございます。

健康に自信のあるあなたも、
病院で治療中のあなたも

健診を受けてみませんか？

表里町の高齢者の健康状況は、このような傾向です

※**肥満**割合は、**宮城県と比べて高い**状態です。

- ・男性 81.15 歳（宮城県 81.26 歳）・女性 87.39 歳（宮城県 87.46 歳）
- ※医療費が多くかかっている疾患は、**心疾患**です。
- ※**受診受診率**が 18.4%と**低く**なっています。（宮城県内ワースト第 8 位）

↓

健診を受けると、いろいろなことがよく分ります

- 治療中の**病気以外**の体の状態を知ることができきます。
- 病気が見つかったも、早期に**発見**することで軽く済むことが多く、病気の悪化を防ぐことができます。
- 病気の悪化を防ぐことで、**元気で暮らせる期間が長**くなります。
- 病気を早期に見出すことで、**医療費の負担が軽**くなります。
- 健康の基本項目の費用が無料**であるので、とてもお得です。

美里町の健診は、5 月と 9 月に予定しています。

健診は、健診日の前日までに申込をいただくか、当日の受付に直接お申し込みください。

健康に自信のある方も、病院に通院している方も、**「年に 1 度の健康チェック」**を受けて、元気で長寿をのめましょう。

お問い合わせ 美里町民生生活課 後期高齢者医療係 ☎ 33-2114

モデル事業を通じた気付き（振り返り会より一部抜粋）

本事業の実施では多くの気付きに繋がった。住民（高齢者）が地域の保険薬局に通い続けることこそがフレイル予防。通えなくなること未だに防ぐための連携体制について今後も検討。フレイルチェックのデータに関しては今後データを取りまとめて検証を進めていく。

○ フレイル予防に関する住民への周知について

フレイルの正しい理解とその方法のみならず、町が実施する事業の内容など、丁寧な周知が必要。また、具体的な周知方法については、「町だより」のみならず、チラシやポスター、テレビやローカルラジオなど高齢者及びその家族に届く媒体を検討し、住民への共通理解を図る。

○ 薬剤師に対するフレイルの周知（合意形成）について

フレイルについて、薬剤師と町職員の間感覚のズレがあった（薬剤師は既に生活に支障を来しているレベル（中等度～重度者）のイメージ、町職員は周囲に気付かれないレベル（軽度者）の把握をしたい）。令和4年度の5～6月頃に大崎薬剤師会と県との共催で北部管内の薬剤師を対象とした研修を開催する。

○ フレイルチェック対象の絞り込みについて

65歳以上、75歳以上、気になる人、町民全員など、町の把握したい内容について絞り込みが必要。

○ フレイルチェックの時期や実施期間について

保険薬局は忙しく薬剤師による継続的なフレイルチェックは困難。今後どのように実施していくのかの検討が必要。例えば、短期間であれば良いのか、チェック項目が少なければ良いのかなど。

○ 保険薬局の薬剤師と町との連携について

町保健師が保険薬局を定期訪問し、気になる高齢者の情報を共有するのは効果的と考えられた（個人情報取扱整理）。また、保険薬局におけるフレイル予防の普及啓発や健診の周知なども効果的と考えられた。その他、健診数か月前の集中的なフレイルチェックが今後可能かについては検討が必要。



令和4年度宮城県フレイル対策市町村サポート事業スケジュール（予定）

No	事業名	内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1	みやぎフレイル対策人材育成プログラム等検討会	●みやぎ健康支援アドバイザー養成研修カリキュラム及びフレイル対策に関する専門職の人材育成研修カリキュラムの更新等（みやぎオリジナルの人材育成を継続検討していく） ①令和4年度事業内容についての共有、目標の設定、役割分担等の検討 ②事業の進捗状況の共有と事業の見直し等の検討 ③事業実施の共有と振り返りを行い、進への提案内容をまとめる			○			オンライン 5/22（水） 14:00～15:30				○				○	
2	みやぎ健康支援アドバイザーネットワーク連絡会	●みやぎ健康支援アドバイザーのスキルアップとチーム力の向上を図る ①令和3年度の実績の共有と令和4年度のカリキュラム及び派遣方法等について（意見交換） ②高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施先進地から学ぶ「神奈川県職員と一体的実施アドバイザーによる市町村への伴走支援」について（意見交換） ③令和4年度チーム派遣の進捗状況の共有・事例検討について（意見交換） ④令和4年度のチーム派遣等の振り返りと令和5年度に向けて（意見交換）		○		○		会務会議 （対面） 5/20（月） 14:00～16:00		オンライン 7/26（日） 14:00～16:00		○				○	
3	みやぎ健康支援アドバイザーチーム派遣によるアウトリーチ型伴走支援	●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係るみやぎ健康支援アドバイザーチーム派遣（各町村からの依頼に応じ、各地域の実情に応じた後方支援を行い、市町村が高齢者の疾病予防と生活機能の改善を図ることを目指す） ○35市町村対象に参加申し込みを募り実施する（7月13日（水）⑤の説明会から開始予定）															
4	フレイル対策に関与する市町村職員等の人材育成研修会	●市町村が行う高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施で活躍できる医療専門職の人材を育成する ①令和3年度チーム派遣に携わったみやぎ健康支援アドバイザーからチーム派遣の実践報告及びアウトリーチ型伴走支援等の説明 ②行政実務士を対象とした研修 ③市町村職員等を対象とした基礎研修会の開催 ④市町村職員等を対象とした実践研修会の開催				○		オンライン 7/13（水） 14:00～17:00			○				○		○
5	フレイル対策事業評価・効果分析等の検討（みやぎフレイル対策人材育成プログラム等検討会で検討）	●健康寿命の延伸に向けた効果的な事業を検討していく ○実証事業支援（6月の本会議で今後の継続を協議） ①令和3年度からの継続事業 ②専門機関等と連携してモデル市町村における高齢者の健康状態や生活状況の包括的な把握方法や実施体制を検討し地域の実情に応じた介護予防・フレイル対策、認知症予防の取組の効果分析等を行う。上記1と同時開催の予定 ○その他、検討会にて実施すべき内容を検討															



©宮城県・道プロダクション

